

ロシア連邦政府

決定

2023年8月26日付第1387号

モスクワ

原油輸出関税率計算方法第2項の改正について

ロシア連邦政府は以下を決定する：

1. 2013年3月29日付ロシア連邦政府決定第276号「原油および特定のカテゴリーの石油製品に対する輸出関税率の計算ならびにロシア連邦政府の若干の決定の失効認定について」（ロシア連邦法令集 2013年、No.13、掲載番号1577；2014年、No.50、掲載番号7066；2015年、No.49、掲載番号6982；2017年、No.47、掲載番号6979；2018年、No.17、掲載番号2482；No.52、掲載番号8264；2020年、No.52、掲載番号8874；2023年、No.22、掲載番号3949）が承認した原油輸出関税率計算方法第2項第11段落において、「2023年5月15日から6月14日まで（同日を含む）とそれに続く全モニタリング期間のそれぞれにおいて、北海市場における"North Sea Dated"原油の平均価格より1 t当たり204.4米ドル、1 t当たり182.5米ドル低かった場合、係数 T_{Snefty} は、それぞれ1 t当たり204.4米ドル、1 t当たり182.5米ドル低い値とする」という文言を、「2023年5月15日から6月14日まで（同日を含む）、2023年6月15日から7月14日まで（同日を含む）、2023年7月15日から8月14日まで（同日を含む）、それに続く全モニタリング期間のそれぞれにおいて、北海市場における"North Sea Dated"原油の平均価格より1 t当たり204.4米ドル、1 t当たり182.5米ドル、1 t当たり182.5米ドル、1 t当たり146米ドル低かった場合、係数 T_{Snefty} は、それぞれ1 t当たり204.4米ドル、1 t当たり182.5米ドル、1 t当たり182.5米ドル、1 t当たり146米ドル低い値とする」という文言に差し替える。
2. 2013年3月29日付ロシア連邦政府決定第276号「原油および特定のカテゴリーの石油製品に対する輸出関税率の計算ならびにロシア連邦政府の若干の決定の失効認定について」が承認した原油輸出関税率計算方法第2項（本決定にもとづく改訂版）の規定は、2023年9月1日以降に支払われる原油および特定のカテゴリーの石油製品輸出関税の税率の計算に適用されるものとする。
3. 本決定はそれが公布された日をもって発効する。

ロシア連邦政府議長

M.ミシュスチン